

## 2019年9月期 第2四半期決算説明資料

2019年5月15日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2019年5月10日に2019年9月期第2四半期決算を発表いたしました。**売上高・営業利益ともに計画を上回る業績**を収めることができ、これもひとえにステークホルダーの皆様の日ごろのご支援と感謝しております。

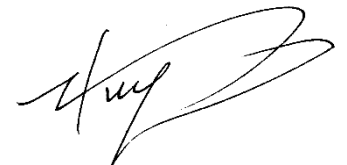
当社グループは、IT技術をもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指し、**エンベデッド技術、通信制御技術、半導体分野での豊富な経験と高い知見**に加え、**サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」の取り扱いを開始**いたしております。これらの取り組みにより、来るべき**IoT/IoE社会すなわちConnected Worldを見据えた「IT社会の循環構造」**が当社グループ内に整いました。

また、**ITエンジニア不足と少子高齢化**が言われる中、将来成長へ向けた**積極的な新卒採用活動を実施**した結果、**64名と発足以来最多数の新入社員**が今年も当社グループへ入社してくれました。

当社グループは、これからも「**安心・安全・豊かな社会**」を実現すべく、「**IoT/IoE社会 = Connected World**」、「**IIOT = Industrial Internet of Things（産業分野におけるIoT）**」、「**自動走行・自動運転・Connected Car**」、「**VR/AR**」、「**AI**」等へソフトウェア技術を提供するとともに、「**M&A戦略**」により**グループの拡大**を目指してまいります。

引き続きご支援のほど宜しくお願い致します。

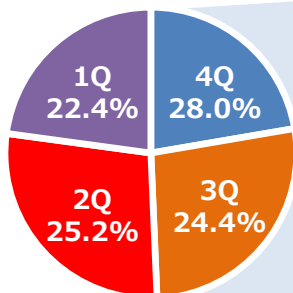
PCIホールディングス株式会社  
代表取締役社長 原口 直道



## 1. 既存事業の好業績に加え、M&Aの寄与により前期を大幅に上回る売上高実績

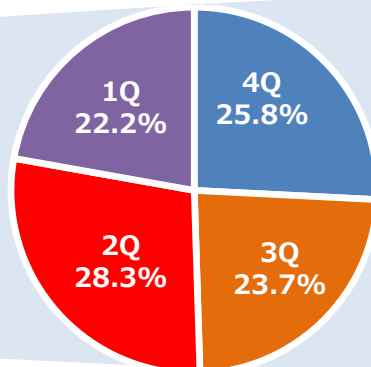
<2017/9 連結売上高>

通期実績：**11,397百万円**  
(前期比34.0%増)



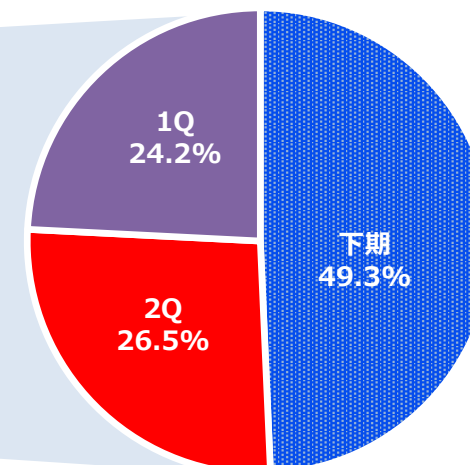
<2018/9 連結売上高>

通期実績：**14,493百万円**  
(前期比27.2%増)



<2019/9 連結売上高>

通期予想：**16,000百万円**  
(前期比10.4%増)



## 2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発にも注力

- ・ 車車間通信を可能にする「**V2X**」
- ・ コミュニケーションツール「**A-ya**」、**「位置情報」**を活用したソリューション
- ・ 情報セキュリティ分野への取り組み「**AppGuard®**」

1. 決算概要	4 ページ
2. 実用化されたIoT/IoEソリューション	9 ページ
3. CSR・ESGへの取り組み	15 ページ
4. 決算期末後のリリース	17 ページ
5. 中期ターゲットと株主還元方針	19 ページ
6. 参考資料	22 ページ

証券コード 3918

東証一部上場

## PCIホールディングス株式会社

### PCIグループ

- PCIソリューションズ株式会社
- 株式会社シスウェーブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社
- VSE株式会社
- 株式会社インフィニテック



# 1. 決算概要



# 2019年9月期 第2四半期決算業績サマリー



売上高：8,112百万円（前年同期比11.0%増）。**堅調に推移する企業のIT投資需要**に対し、多様化するニーズに対して**高品質なサービス提供**に引き続き邁進。**グループ間シナジーによる多角化**を行う。ITエンジニア不足に対し、**ビジネスパートナーとのアライアンス強化**を継続。

営業利益：387百万円（前年同期比21.8%減）。前連結会計年度において、**事業会社の収益が上期偏重となった影響**により下期偏重。**計画には織り込み済み**。「AppGuard®」に係る**戦略的先行投資等**も膨らむ。

※人材確保：将来的な**オフショア開発を視野に、国外企業への出資契約**を締結。

(百万円)	18年9月期			19年9月期（計画）					通期計画 進捗率
	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	第1四半期 実績	第2四半期 実績	上期 実績	上期 計画	通期計画	
売上高	3,210	4,098	7,308	3,866	4,245	8,112	7,660	16,000	50.7%
売上総利益	749	1,266	2,016	932	1,094	2,026	-	-	-
(売上総利益率)	23.3%	30.9%	27.6%	24.1%	25.8%	25.0%	-	-	-
営業利益	60	433	494	108	278	387	339	800	48.4%
(営業利益率)	1.9%	10.6%	6.8%	2.8%	6.6%	4.8%	4.4%	5.0%	-
経常利益	80	436	516	115	274	390	342	816	47.8%
(経常利益率)	2.5%	10.6%	7.1%	3.0%	6.5%	4.8%	4.5%	5.1%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	158	129	288	52	138	191	229	540	35.4%
(当期純利益率)	4.9%	3.2%	3.9%	1.4%	3.3%	2.4%	3.0%	3.4%	-
EPS	40.93円	-	71.01円	12.43円	-	45.73円	54.37円	130.27円	-

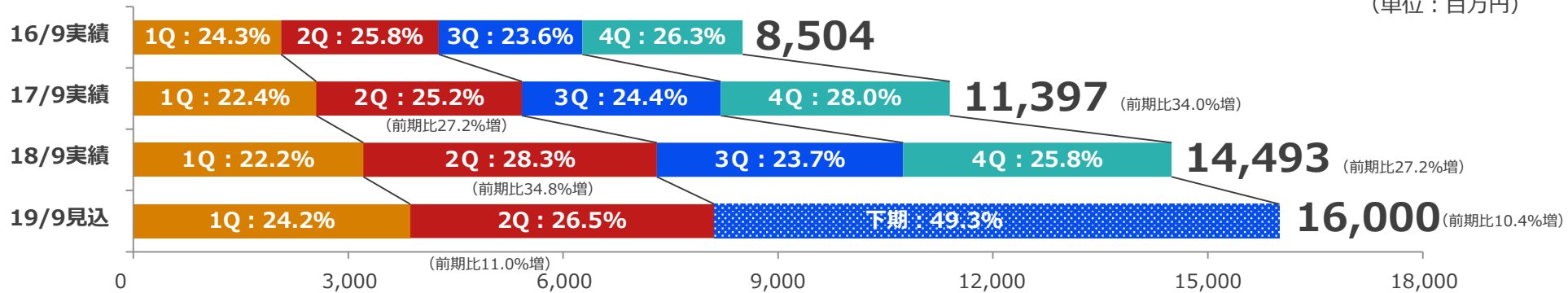


# 2019年9月期 第2四半期 業績推移 (サマリー)

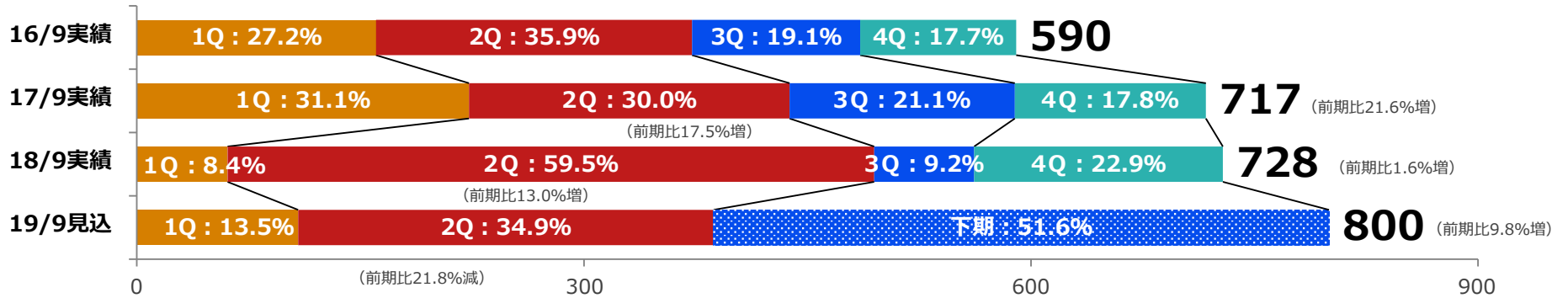


(単位：百万円)

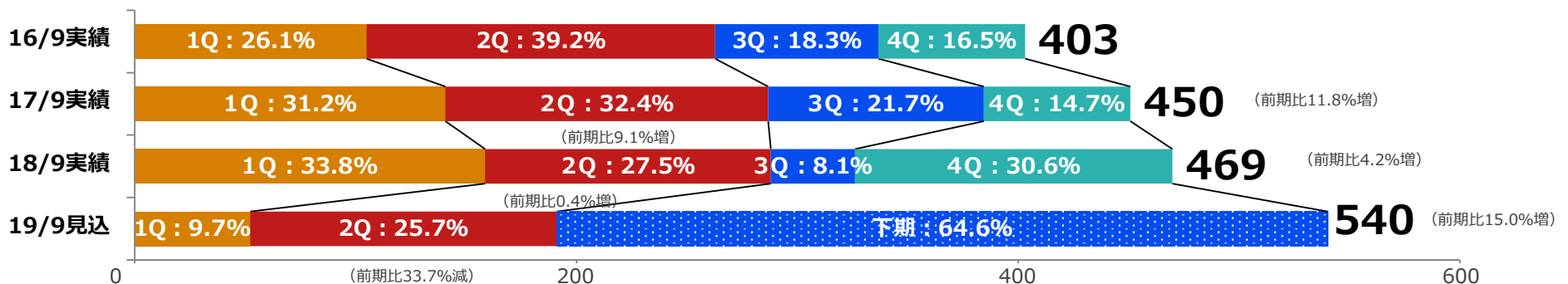
## 売上高



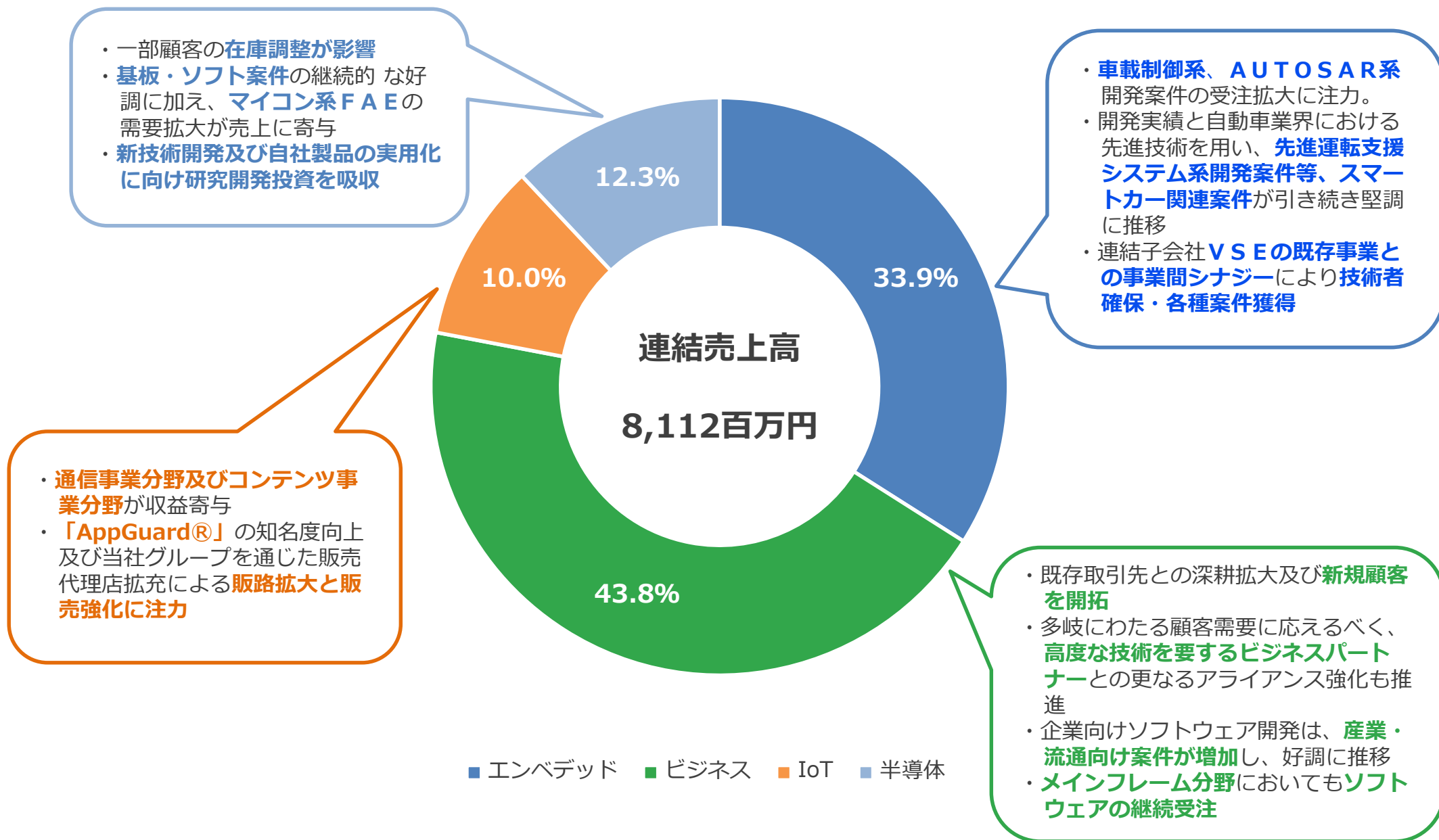
## 営業利益



## 当期純利益



IR Movies

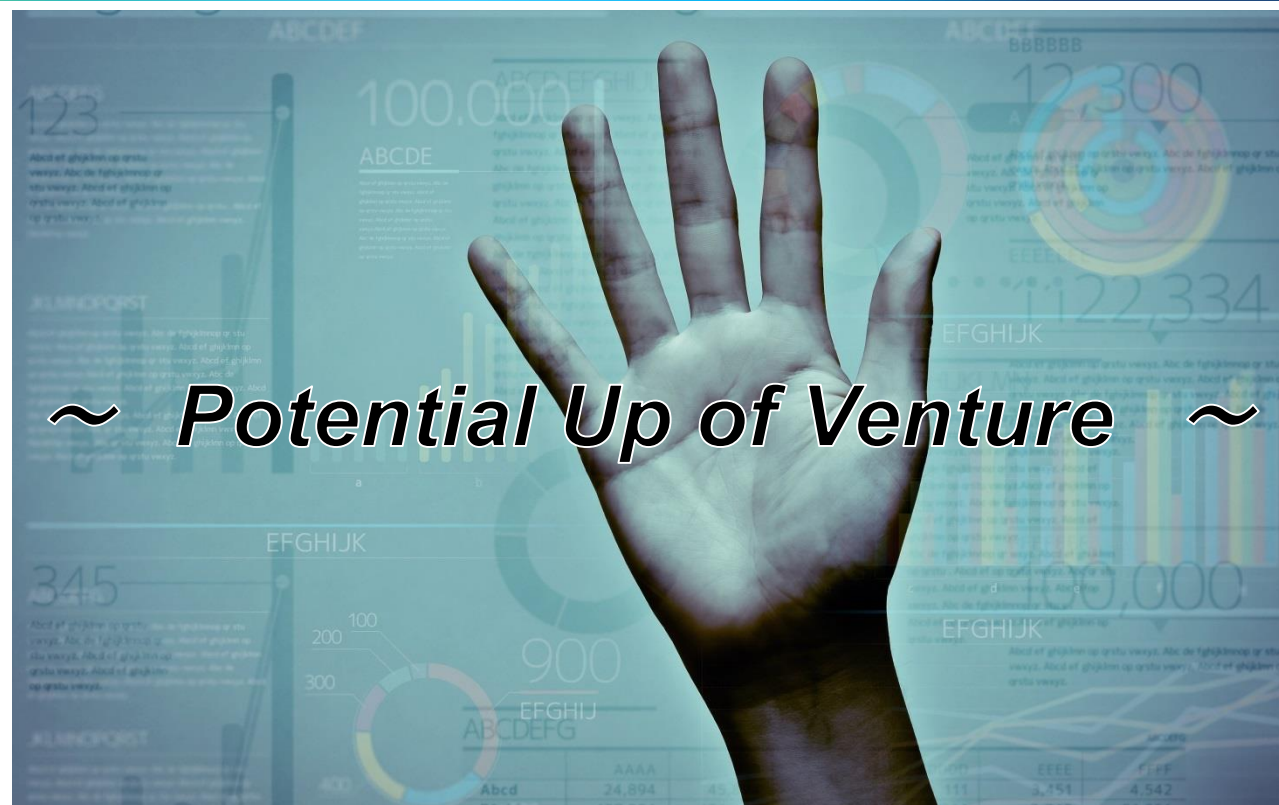


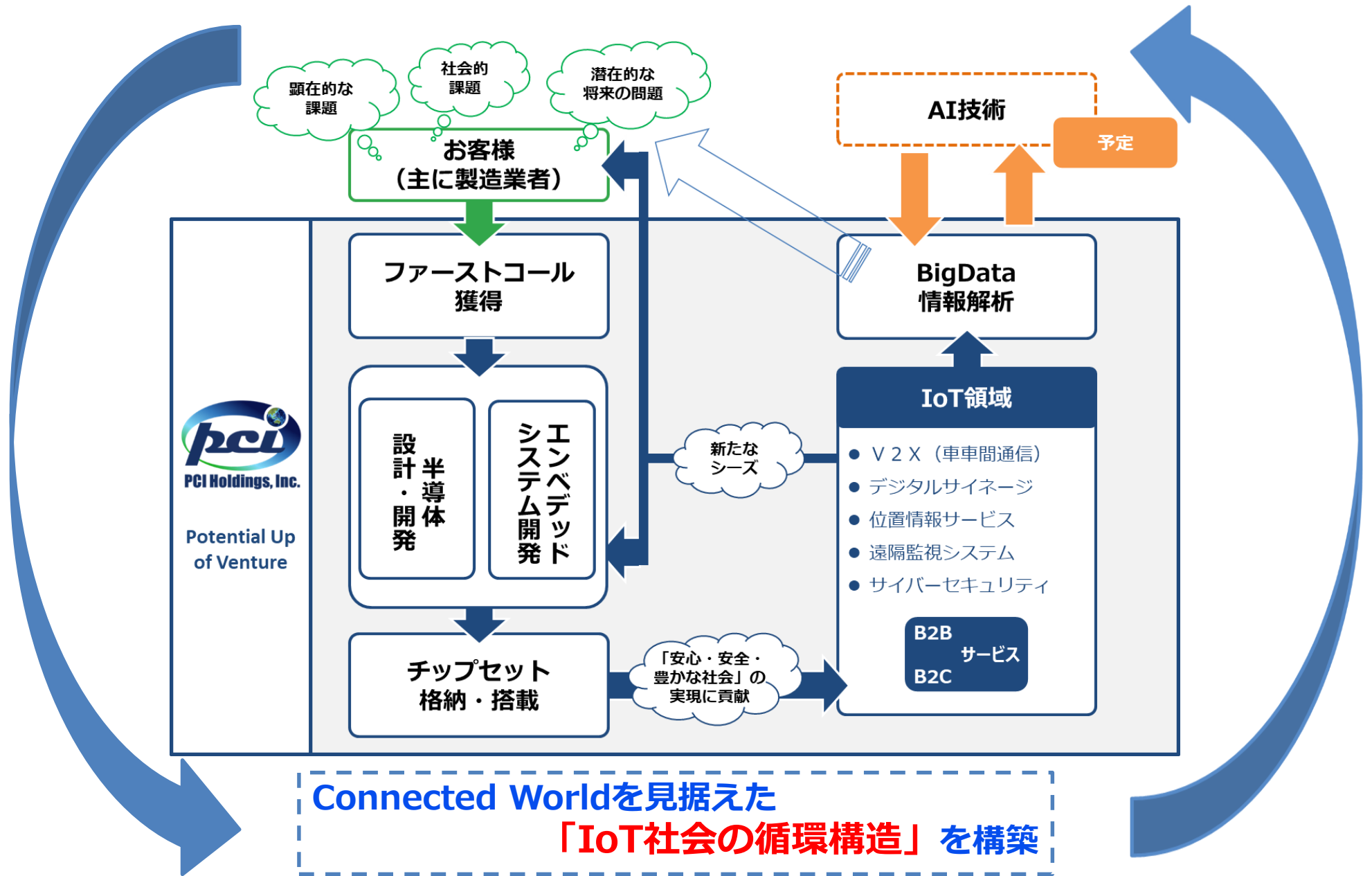
(百万円)	2018年9月期				2019年9月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	上期	通期計画
<b>売上高</b>	<b>3,210</b>	<b>4,098</b>	<b>3,438</b>	<b>3,746</b>	<b>3,866</b>	<b>4,245</b>	<b>8,112</b>	<b>16,000</b>
エンベデッドソリューション	1,160	1,207	1,125	1,282	1,304	1,442	2,747	-
ビジネスソリューション	1,519	1,999	1,452	1,588	1,696	1,858	3,555	-
IoT / IoE ソリューション	86	415	432	441	339	470	810	-
半導体トータルソリューション	443	474	427	433	526	473	999	-
売上原価	2,461	2,831	2,518	2,736	2,934	3,151	6,085	-
<b>売上総利益</b>	<b>749</b>	<b>1,266</b>	<b>919</b>	<b>1,010</b>	<b>932</b>	<b>1,094</b>	<b>2,026</b>	<b>-</b>
エンベデッドソリューション	241	280	231	250	282	321	604	-
ビジネスソリューション	335	604	339	415	353	461	814	-
IoT / IoE ソリューション	23	234	213	209	129	199	328	-
半導体トータルソリューション	149	146	134	135	167	112	279	-
販管費	688	832	852	843	824	815	1,639	-
<b>営業利益</b>	<b>60</b>	<b>433</b>	<b>67</b>	<b>167</b>	<b>108</b>	<b>278</b>	<b>387</b>	<b>800</b>
営業外収益	22	7	17	11	11	4	15	-
営業外費用	3	5	4	3	3	8	12	-
<b>経常利益</b>	<b>80</b>	<b>436</b>	<b>80</b>	<b>174</b>	<b>115</b>	<b>274</b>	<b>390</b>	<b>816</b>
<b>税前利益</b>	<b>179</b>	<b>280</b>	<b>79</b>	<b>191</b>	<b>114</b>	<b>225</b>	<b>340</b>	<b>-</b>
法人税等	21	151	42	47	55	83	139	-
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>158</b>	<b>129</b>	<b>38</b>	<b>143</b>	<b>52</b>	<b>138</b>	<b>191</b>	<b>540</b>





## 2. 実用化されたIoT/IOEソリューション



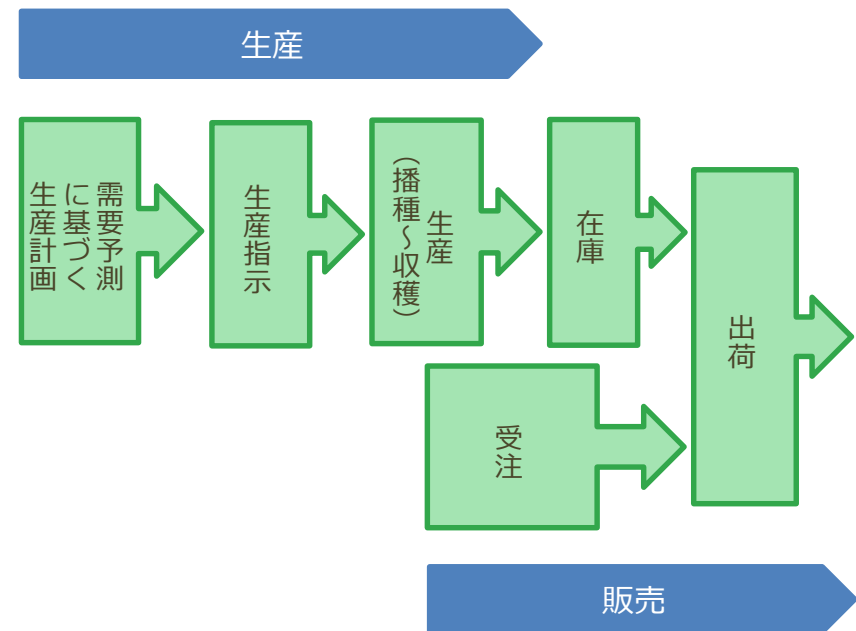
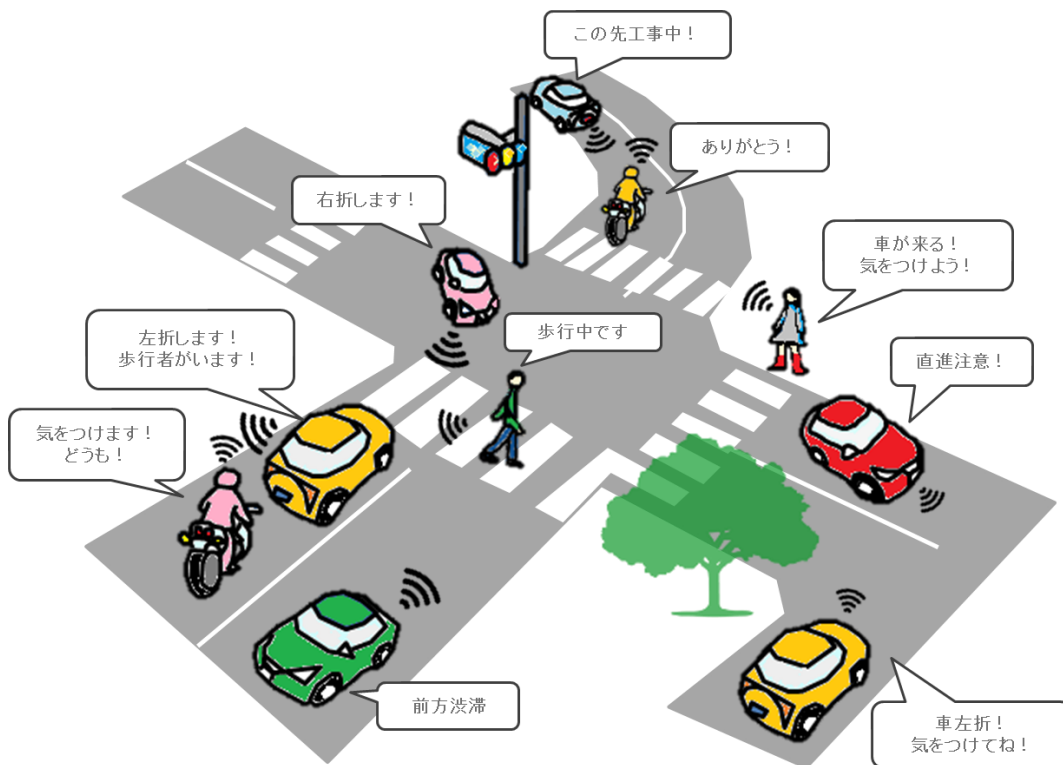


# V2X (Vehicle to X・車車間通信)、植物工場事業への参画

V2Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は**V2Xユニットのソフトウェア開発**と**V2Xを活用した新サービスを提案**

当社の**資本業務提携先**である株式会社レスターホールディングスのグループ子会社が展開する**植物工場事業**に対し、**当社が一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託**



## 経緯・・・

来るべきIoT/IoE社会におけるサイバーセキュリティ領域へ進出するために『最強そして究極』と呼ばれる『AppGuard®』の取り扱いを開始

## 目的・・・

IoT/IoE 社会

=あらゆるモノがインターネットを介してつながる社会  
= Connected World

におけるサイバーセキュリティを先行

## 効果・・・

自動走行・自動運転をはじめとした

「人と人」・「人とモノ」・

「モノとモノ」が相互に繋がる

「Connected World」のセキュリティ強化まで、当社グループがリード



平成30年度版 準拠  
内閣サイバーセキュリティセンター  
ガイドライン準拠製品！

革新は、違うカタチをしている。  
**APPGUARD**  
BPw, reinventing Cybersecurity

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を扱う企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウイルス、AI機械学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特徴をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリーにも属さない、セキュリティを超えセーフティを追い求める新概念の製品、AppGuardのご紹介です。

**単体製品で準拠 APPGUARDとは**

サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準群」を解説するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により2018年7月25日に発表されました。情報セキュリティ対策のための遵守事項として、「既知及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止の機能を有するソフトウェアの導入」が含まれており、参照すべきガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

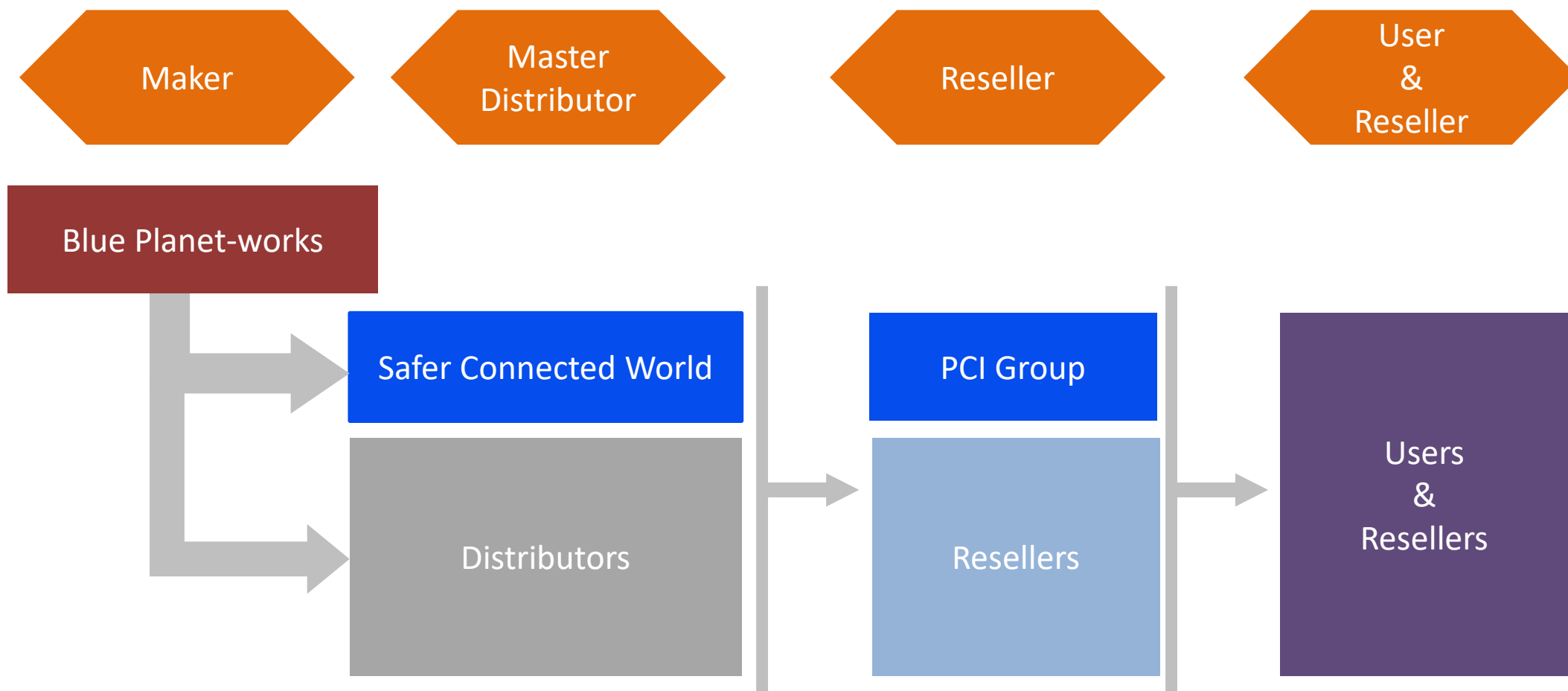
NISCガイドライン	APPGUARD
シグネチャにより検知する方式以外を採用しての未知の脅威への対策	シグネチャ(定義)ファイルに依存しません
OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を防止・隔離	特許取得の隔離技術=Isolation Technologyにより、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	エンジンは1MB以下で軽量、定期的なスキャン・アップデートは不要です

**標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、ランサムウェア対策**  
に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品！

AppGuard、AppGuardのロゴは米国法人AppGuard, Inc.、または株式会社Blue Planet-works及びその関連会社の、米国、日本またはその他の国における登録商標、または、商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。製品の仕様と価格は、都合により予告なしに変更することがあります。本書の記載内容は、2018年8月現在のものです。

2015年1月、内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」が設置され、同時に、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC=National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity）」が設置。サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出に向け、官民一体となって様々な活動に取り組んでいる。（内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）Webサイトより抜粋）

# 当社グループの『AppGuard®』販売フロー



# 当社グループの『AppGuard®』リセラー一覧（一部抜粋）



<p>アイティーエム株式会社</p>  <p><b>アイティーエム株式会社</b></p> <p>システムの安心・安全を実現させる“マネージド セキュリティ インフラ”を提供します</p> <p><a href="https://www.itmanage.co.jp/">https://www.itmanage.co.jp/</a></p>	<p>株式会社エクシード・ワン</p>  <p>クラウドとセキュリティとIT インフラを 得意としております企業</p> <p><a href="https://www.exceedone.co.jp/">https://www.exceedone.co.jp/</a></p>	<p>株式会社グローバル・ネット・アドベンチャーズ</p> <p><b>GLOBAL NET ADVENTURES</b> for a new world beyond today's computer networks</p> <p>先進のセキュリティ基盤に基づく 次世代サービスの構築支援</p> <p><a href="http://global-net-adventures.com/">http://global-net-adventures.com/</a></p>
<p>シクロマーケティング株式会社</p>  <p>これからの働き方を マーケティングにより最適化します</p> <p><a href="https://cyclo.jp/">https://cyclo.jp/</a></p>	<p>ダイワボウ情報システム株式会社</p>  <p>国内のIT 流通を支える トップディストリビューター。</p> <p><a href="https://www.pc-daiwabo.co.jp/">https://www.pc-daiwabo.co.jp/</a></p>	<p>株式会社チェンジ</p>  <p>NEW-IT トランスフォーメーションで お客様の生産性を革新する。</p> <p><a href="http://www.change-jp.com/">http://www.change-jp.com/</a></p>
<p>田中電機工業株式会社</p>  <p>世界最先端のソリューション技術で IT 経営の推進をサポートします。</p> <p><a href="http://www.tanaka-elec.co.jp/">http://www.tanaka-elec.co.jp/</a></p>	<p>株式会社バルク</p>  <p>P マークと ISMS の認証取得支援トップクラスの 実績で企業を強力にサポートします。</p> <p><a href="https://www.vlcank.com/">https://www.vlcank.com/</a></p>	<p>ポートウェルジャパン株式会社</p> <p><b>Portwell Japan, Inc.</b></p> <p>老舗の産業用 PC、サーバー・エッジ コンピューティング製品のメーカーです。</p> <p><a href="https://www.portwell.co.jp/">https://www.portwell.co.jp/</a></p>



IR Movies

### 3. CSR・ESGへの取り組み



Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.



ESG (Environment=環境、Social=社会、Governance=企業統治) に対し、  
継続的かつ積極的な貢献を目指しております。

## 学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」のサポート活動

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」が取り組む研究活動へのサポートを開始（2017年4月）。RISCs（Rikyoo Ikebukuro Support Companiesの略称。本活動に賛同・協力する事業会社群のこと）と共に、「**理工系人材の育成**」、「**イノベーション環境の提供**」をテーマに、中高生が最先端技術に触れる機会の提供と社会的意義が深く新たな価値創造ができる人材育成を目的。

## 山形県村山市との「地方創生と人づくりに向けた包括的ICT連携協力に関する協定」

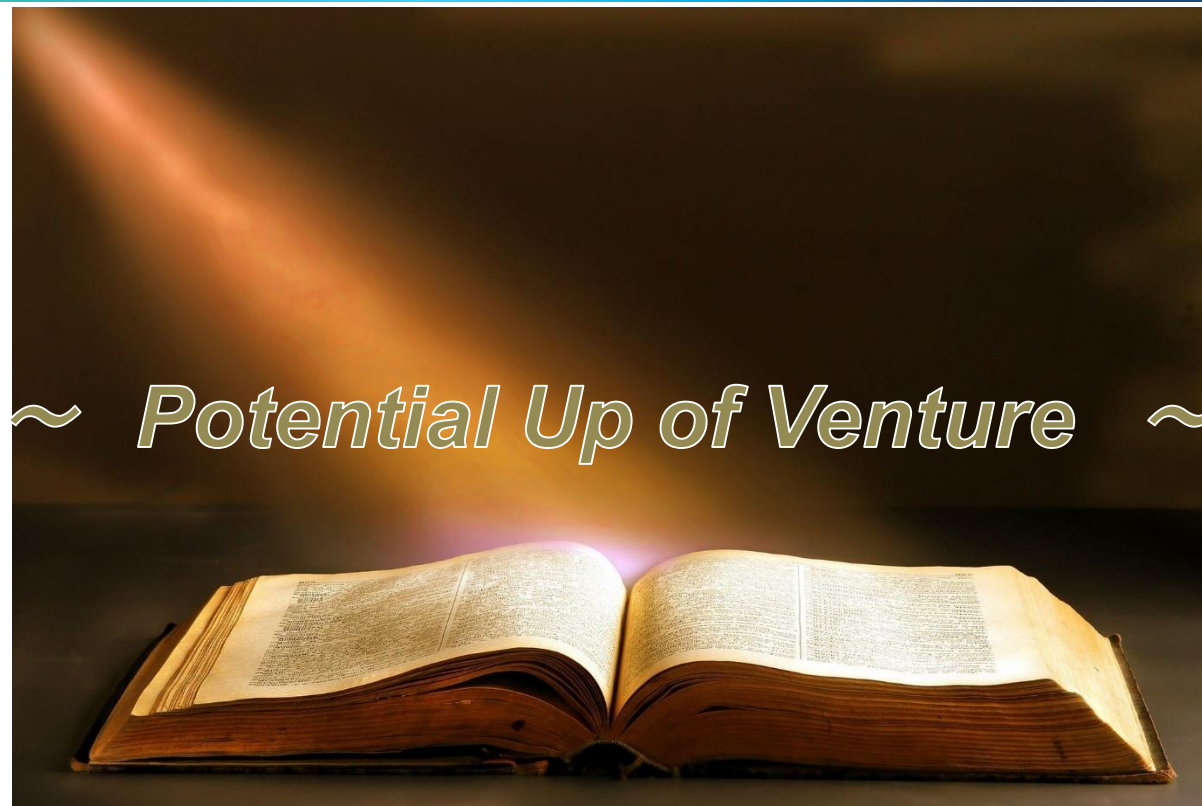
山形県村山市内を流れる最上川沿いに建つ多目的温泉保養館「クアハウス基点」へ、市民や観光客の皆様への情報提供を目的に「**デジタルサイネージ『情報掲示板A-ya』**」を導入（2017年10月）後、「**ICT連携に関する協定**」を正式締結（2018年1月）。住民の皆様への公共サービス向上と社会実装を目指した「**除雪等位置情報システムに係る実証実験**」（2018年2月開始）の実施や、「むらやま教育のつどい（2018年11月開催）」へのブース設置により、「**ICT教育及び先端サイネージ・ソリューションの体験環境**」を提供。

## プロテニス選手を目指す佐藤南帆選手を応援

青少年の健全育成に賛同し、スポーツ活動の支援を決定。具体的には、「**将来を担う次世代育成**と、「**活動的な社会の実現**」を目指した青少年育成を目的に、「TeamNaho」を通じて世界で活躍するテニスプレイヤー佐藤南帆選手のサポートを開始（2017年8月）。



## 4. 決算期末後のリリース



- ① 2019年4月1日 株式会社インフィニテックの株式取得（子会社化）に向けた協議開始に関するお知らせ（I R 情報）
- ② 2019年4月26日 連結子会社Safer Connected World株式会社が、「AppGuard」製品サイトを公開いたしました。（グループ子会社 P R ニュース）
- ③ 2019年5月7日 本日付で株式会社インフィニテックの株式過半数を取得し、子会社化いたしました。（I R 情報）

## 5. 中期ターゲットと株主還元方針

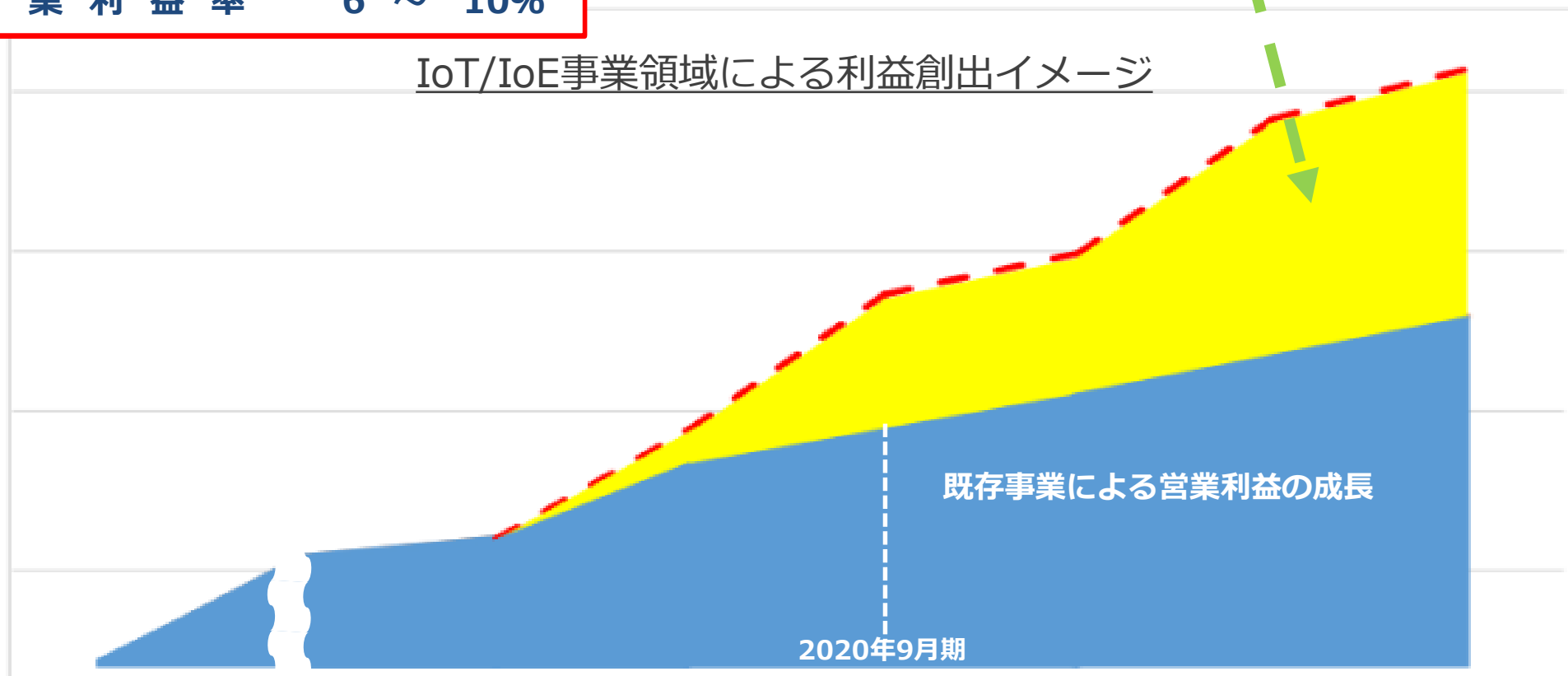


## 中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域  
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)  
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。



## 株主還元方針

**安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上**  
**[連結配当性向：30%～50%を目安とする]**

## 配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)
配当性向	—	—	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	46.1%

(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。  
 2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

**3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施いたしました(第2四半期30円、期末30円を予定)。**

## 6. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,516万円 (2018年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	144億9,359万円 (2018年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 3918)	経常利益 (連結)	7億7,118万円 (2018年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,195名 (2018年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株) シスウェーブ (株) シー・エル・シー (株) りーふねっと Safer Connected World (株) VSE (株) (株) インフィニテック

## 企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて  
**全社員の幸せ**を追求し、  
そして**社会の発展**に貢献します。

## 行動方針

安定した事業成長を実現します  
ユーザに適したソリューションを提供します  
応援して頂ける企業を目指します  
積極的（**P**）に変化（**C**）を求め革新（**I**）します  
全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を  
目指します

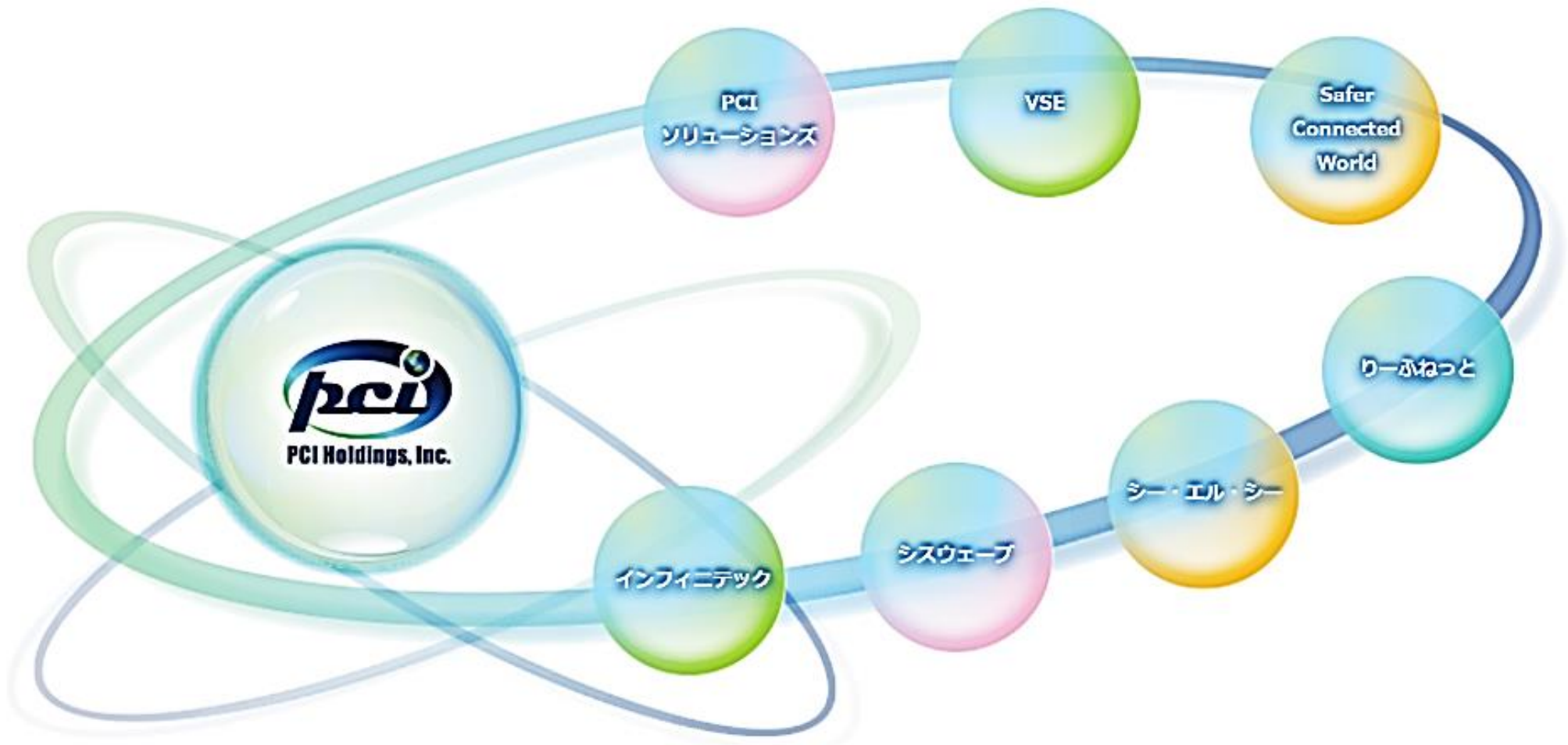
（注） **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

## 2019年9月期 グループMotto

IoTにより全てが繋がる社会になる中、  
当社はITを通じて、  
安心、安全、豊かな社会の実現に貢献します。

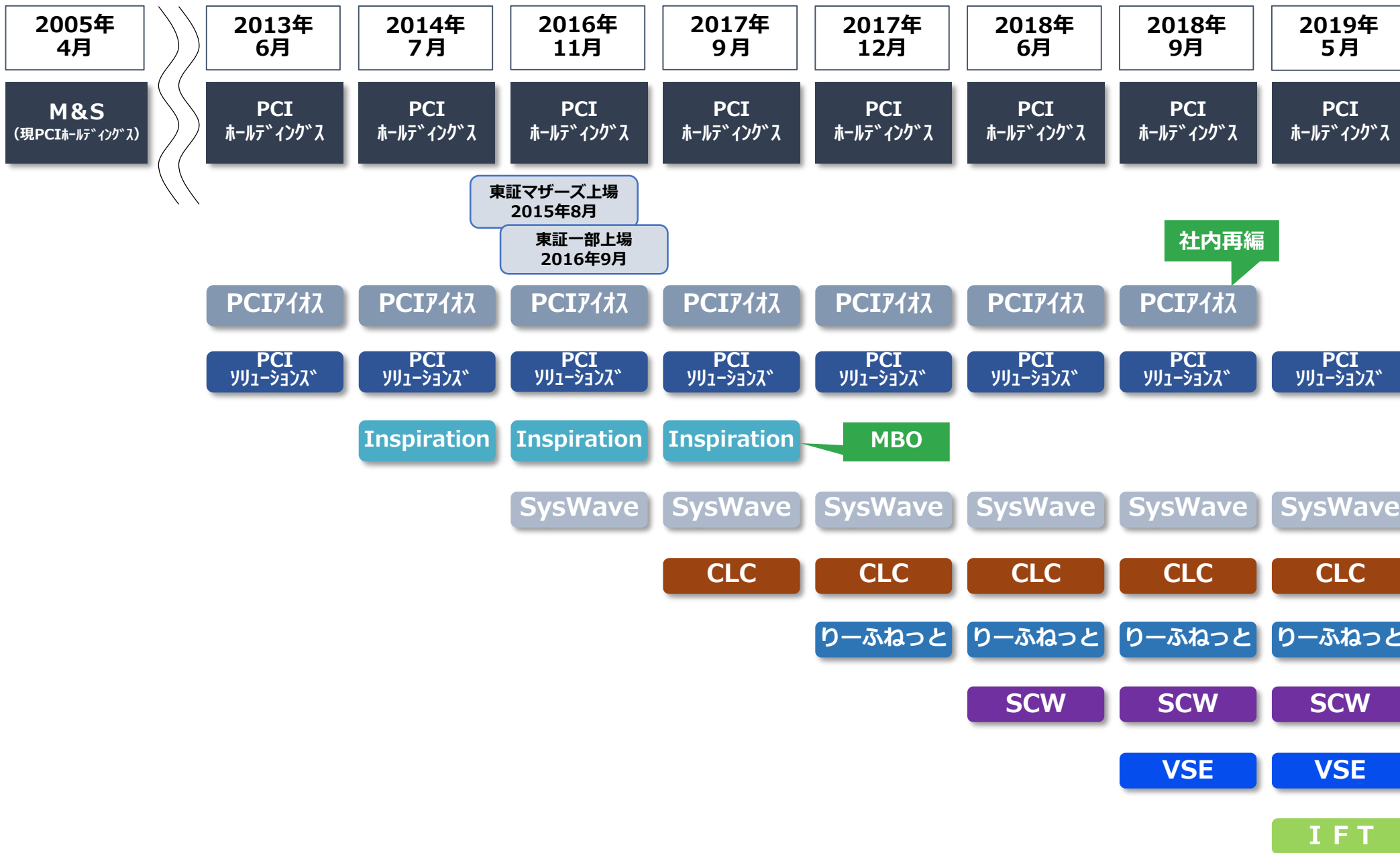


PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます

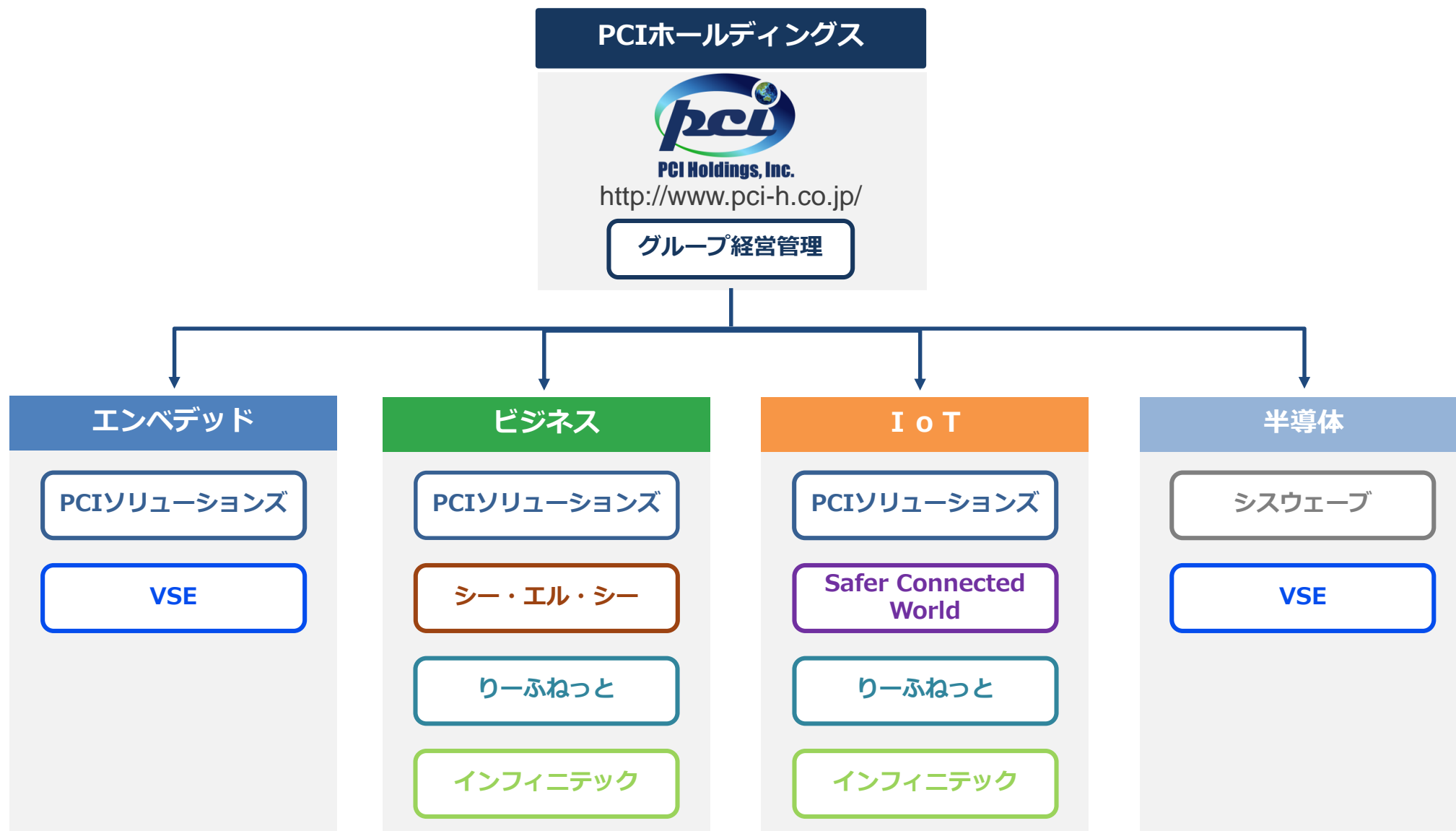


# 会社の事業内容について ～ グループ沿革 ～

概要



PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます



## PCIソリューションズ

エンベデッド  
ソリューション

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

### 当社グループの連結売上高の約90%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

## シスウェーブ

半導体トータル  
ソリューション

### LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

## シー・エル・シー

ビジネス  
ソリューション

### ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。

## Safer Connected World

IoT/IoE  
ソリューション

### (株) BluePlanet-workusとの合併会社

株式会社Blue Planet-worksの製品である「最強そして究極」のサイバーセキュリティ・エンドポイント・プロテクション『AppGuard®』の販売及び関連サービスを提供。IoT/IoE社会のセキュリティまでリードすることを目的に設立。

## リーふねっと

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強み。オープンソースソフトウェアを活用した、開発も行う

- ・企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。
- ・オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

## VSE

エンベデッド  
ソリューション

半導体トータル  
ソリューション

### （株）レスターホールディングスとの合併会社

半導体やカメラデバイスのサービスサポート、デバイスドライバ～組込みソフト開発、通信・放送系をメインとした電子機器開発まで、ニーズに合わせたサービスを提供。

## インフィニテック

ビジネス  
ソリューション

IoT/IoE  
ソリューション

### （株）レスターホールディングスとの合併会社

ネットワーク対応AVシステム、セキュリティ関連機器及びアプリケーション、音声・画像認識関連ソリューションの開発・販売を行う事業会社。2019年5月より、（株）レスターホールディングスとの合併会社として当社グループ子会社化。



さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベデッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。  
**参入障壁は極めて高い。**

半導体チップの受託設計及びテストを行う。自社のテストセンターを所有。  
**特殊性が強い。**

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。  
**参入障壁は高い。**

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。  
**参入障壁は高くない。**



**IoT / IoEソリューション**

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

**半導体ソリューション**

- LSI設計、テスト設計、評価等、半導体開発全般のサービスを提供。半導体開発のイノベーションをトータルサポート。

**エンベデッドソリューション**

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組み込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

**ビジネスソリューション**

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

**成長分野**

**シナジー効果**

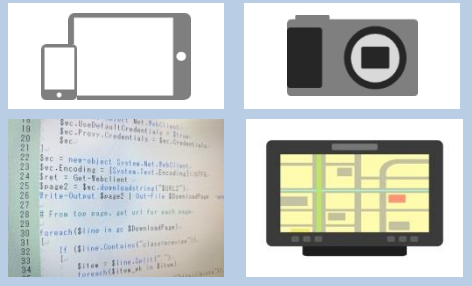
**収益基盤 (安定成長)**

**高い技術力の源泉**

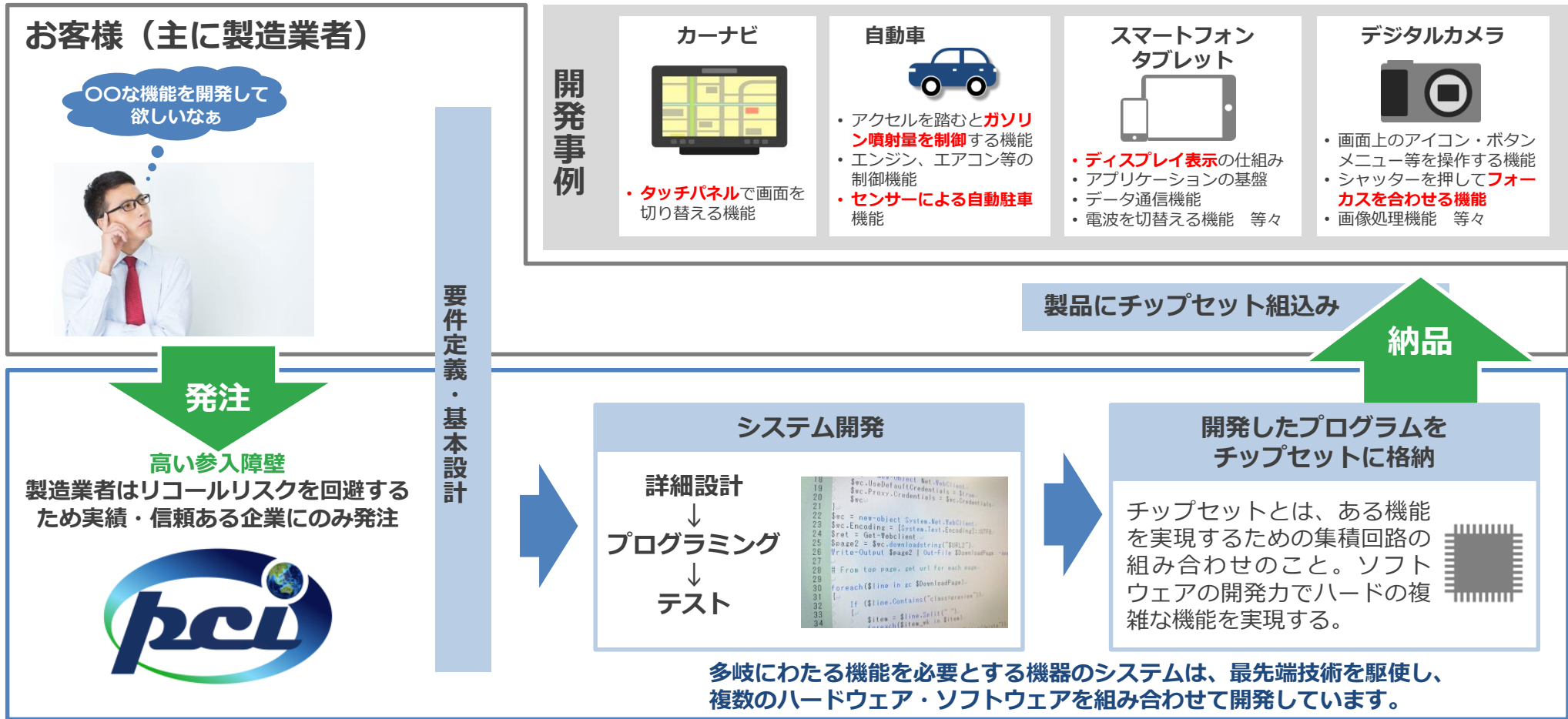
**PCIホールディングスの事業基盤**

**技術力** 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組み込み・半導体」

**知的資本** 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」



- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。



※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。

## 「AppGuard®」テクノロジーについて

### <特徴>

- ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 20年以上破られたことのない実績

### <採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

### <主要株主>

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

#### PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

#### 軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

#### アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



IR Movies





# Advisors



**黒川清**

- 政策研究大学院大学名誉教授
- 特定非営利活動法人日本医療政策機構代表理事
- 元日本学術会議会長
- 元内閣特別顧問



**Mark Kelton**

- Former senior CIA executive (Deputy Director of the National Clandestine Service for Counter Intelligence (DDNCS/CI))
- Director of MEK & Associates



**出井伸之**

- クオンタムリープ株式会社代表取締役
- 元ソニー株式会社社長・会長



**Stanton D. Anderson, Esq.**

- Senior Counsel to the President and CEO, US Chamber of Commerce
- Founder, AHNB
- Former member of US President's Advisory Committee



**村井純**

- 慶應義塾大学  
大学院 政策・メディア研究科委員長  
環境情報学部 教授



**Robert Bigman**

- Former CIA CISO (Chief Information Security Officer )
- 2BSecure President (information security consulting company)

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり 潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 グループ戦略室  
E-mail [ir@pci-h.co.jp](mailto:ir@pci-h.co.jp)



[IR Movies](#)

Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.